

## おだやかな山稜を花と展望の大縦走 以東岳～大朝日岳

実施日	2018年8月2日(木)～8月4日(日)
天候	晴れ
リーダー	中村 友子
参加者	涌井良明、石附智江、中村友子、石原勝正、宇野輝代、峯川弘子、宮崎敏男山田千恵子 計8名
費用	JR23,650円 車23,000円/台 避難小屋1,500円×2泊 朝日鉱泉8,640円 登山3,000円 合計 41,240円
タイム	8/2 鶴岡駅(10:18～10:30) 泡滝口(11:40～12:00) 大鳥小屋(15:15) 泊 8/3 大鳥小屋(4:30) オツボ峰(7:00) 以東岳(8:20) 中先峰(10:06) 狐穴小屋(11:00～11:30) 寒江山(12:35) 竜門小屋(14:05) 泊 8/4 竜門小屋(4:25) 西朝日岳(5:50) 大朝日小屋(7:40) 大朝日岳(8:00～8:15) 大朝日小屋(8:25～8:30) 小朝日岳(10:33) 鳥原山展望台(12:30) 鳥原小屋(14:00～14:30) 金山沢出会(14:30～14:35) 朝日鉱泉(16:45) 泊 8/5 朝日鉱泉(7:30) 左沢駅(8:40～8:52) 山形駅(10:02) → 東京駅

8/2 今年は日本中どこに行っても暑い(><)。上越新幹線新潟駅乗換にて奥羽本線鶴岡到着。ジャンボタクシーにて車で行ける最後泡滝口迄およそ1時間20分。

運転手さんも今年はいつになく暑いと言っていた。それでも空気は爽やかと感じ昼食を済ませ歩き始めたが、すぐに汗が滝の様に流れた。

数ある水飲み場には柄杓が置いてあり休憩を取りながら進んだ。最後の水飲み場の水は今回一番美味しかったように思う。(相当疲れていたか?) 時間より長く感



じた歩行が終わり大鳥小屋に着くと何と立派な小屋が。

泊り客も少なく、個室を与えられ避難小屋とは思えない快適さだった。意外に缶ビール500円もあり最高。行動時間3h15m

8/3 3時起床4時間30分出発はかなり厳しい。各自暗闇の中、朝食を済ませ昼食の準備も済ませ予定時間通り出発できたのは誠に素晴らしい。

大鳥池を廻りこむ様に進みオツボ峰ルートと直登ルートの分岐から1時間30分ほど余分にかかるオツボ峰ルートへ。



小屋番さんも花が素晴らしいと推奨。分岐から直ぐに急登が始まり直登ルートの恐ろしさを想像しながらこちらも汗かきかき登るとお花畑が広がっていた。今年はこの山の花も2週間ほど早いようだがここもその様だ。

マツムシソウ、ヒナウスユキ草ハクサンイチゲ等々咲き乱れている。マツムシソウは初秋かと思うが只今満開数多く咲いている。8月初旬なのに秋はすぐそこ



で来ている様だ。

尾根を歩く頃になると日本海からの風がきつくなり1枚はおりに以東岳目指した。以東岳山頂では風も強く写真撮影のみとし松虫岩迄進み風を避け大休止とした。

歩いて来た稜線、進行方向の稜線は本当に気持ち良い。後方の以東岳山頂は時折雲から頭を出し見送っている。とにかく稜線は長い、歩けど歩けど狐穴小屋迄は遙か彼方…。



中先峰を過ぎると狐穴小屋が見えてくる。小屋の庭を借り大休止。

小屋前に冷たい水が引いてありビール800円で分けていた。ここからも寒光山等小さなピークを越え竜門小屋に着いた。行動時間 9 h 3 5 m

8 / 4 竜門小屋 4 時 2 5 分 出発。昨日より天候はずっと良さそうだ。

4 時 3 5 分 過ぎの日の出に期待を持ち登山開始。稜線歩きとは言え地形、笹等で見ることが出来るかと心配しつつもジャストタイムで見渡せる場所にたどり着いた。

太陽は多少雲の上からではあったが昇り、いつもながら感動する。早朝出発なのでとにかく気持ちが良い。



西朝日岳からの眺望は脳裏に焼き付く。目指す大朝日岳は中岳の先に見事なピラミッド型、以東岳は勿論月山、雲の上に鳥海山も頭を出している。更らに足を進め金玉水への分岐に着くが寄らず大朝日岳山頂小屋迄登り詰めた。

小屋で小休止、ザックをデポし山頂へ。8 時 ジャストに今回山行の最高峰に立った。飯豊連峰、磐梯山、以東岳に続く稜線、西朝日岳で見た山々、素晴らしい 3 6 0 度の大展望。



小屋と山頂のピストンは容易だ。この先進む子朝日岳、鳥原山が遠くに大きく感じた。二方からの尾根が寄り合う谷間に朝日鉱泉の屋根が見えると小屋番さんが教えてくれた。確かに見える！ずっとずっと先に言われなければ分からないほど小さく、気を取り戻し先に進む。

銀玉水で水分補給、ガイドブックには日本一美味しい水(?)とあったが初日の大鳥小屋手前の水が美味しかったような気もする…。

日差しも強くなりそろそろ疲労も感じ始めた。大朝日岳よりここまでの稜線から大朝日岳を見返すとピラミッド型には見えず穏やかな山域に見えるのが何とも不思議。

小朝日岳への岩々の急登は厳しい。

山頂は非常に暑いのでそそくさと先へ。



下りもザレて滑り易い上ロープ箇所もありやはり厳しい。

鳥原山へは手前で休憩を取りなだらかな道を登る。展望台を通過し少し道からずれた山頂三角点をタッチして下り、鳥原小屋で大休止。

水を補給し最後の下りかと思いきや金山沢出会いからいくつかのピークを越さねばならなかった。

中ツル尾根コースと合わせ最後の最後、吊橋手前に立つとドッキリ。渡るもドキドキだが宿がかなり高い場所に。

罰ゲームの様な坂を登り宿に到着、部屋に入る前に生ビールで乾杯、本当にお疲れ様でした。

朝日鉱泉ナチュラルリストの家は綺麗に手入れされていて食事も良かった。

夕刻テラスから大朝日岳山頂を見上げるとやはりピラミッド型。空には恐竜の様な怪しげな雲が迫っている。悪天候になりそうな予感…。

行動時間 1 2 h 2 0 m

8 / 5 朝食を済ませ、登山バスで左沢駅、更にJR左沢線で山形駅。

一旦解散とし花笠祭り初日の雰囲気を楽しみ、山形牛と冷麺を堪能して新幹線に乗った。

車中で山形地方大雨の情報に昨日見た怪しい雲はこれを予言していたのか。

今日我々と逆方向の縦走組がいたがどうなるだろう。好天に恵まれ、皆さんの協力あって朝日連峰計画通り踏破出来ました。本当に有り難う御座いましたそしてお疲れ様でした。

(記・中村 友子)

(写真提供・涌井 良明)